

現場の課題・社会の需要に
対応する防水材料・工法

社会環境の変化に伴い、建築防水への要求も変化してきている。防水そのものの性能はもちろん、長期耐久性、改修への対応、環境負荷の低減、さらに、「2024年問題」への対応策として、作業の効率化、合理化を図る動きが一層活発化している。品質を保ちながら、それら多様なニーズにいかに応えていくか、メーカー各社の技術開発に期待が高まっている。

本特集では、識者から見た防水材料・施工の現状や今後への期待、課題についての意見を掲載するとともに、各社の防水材料・工法の開発動向を紹介し、これからの建築防水を展望していく。 編集部

● 建築防水の課題と今後への期待

清水建設／日本建築学会 竹本 喜昭 …36

● 貯留水のpH上昇を抑制する
水槽防水工法

大関化学工業／大関化学テクニカルサービス 渡部 康夫 …40

● 屋上への太陽光発電設置の課題に対応
した防水層と水密一体化する乾式基礎
および高耐久防水工法

田島ルーフィング 関根 治之 …42

● 高耐久かつ省力化を実現する
新しいアスファルト防水工法

日新工業 佐野 茂 …44

● 自然光が照明に

～脱炭素で未来を明るく照らす防水工法

早川ゴム 沼田 勝己 …46

● 一液性ウレタン防水材の勧め

ボース 辺見 幸生 …48

● 注入防水材による防水層再生工法

～環境負荷の低減と施設の長寿命化へむけて

成瀬化学 伊藤 太郎 …50

〈新連載〉

若き防水人のための防水講座

東京工業大学名誉教授・工学博士

田中 享二 …26

